

大仲屋本店 (株)津和野開発 (旧株)石西社))

廃業予定だった地元唯一の醤油製造会社を買収し、醤油製造業へ新規参入

事業者概要

- ・創業・事業承継者 代表取締役 橋本正嗣 (73歳)
- ・従業員 3名
- ・所在地 鹿足郡津和野町青原 765

支援団体

- ・津和野町商工会

経緯

3セクの株石西社は、1929年に養蚕と蚕糸販売の会社として設立。1999年に町からの委託で道の駅の運営管理を開始し、2001年に製糸業から撤退した。道の駅では物販販売所や食堂を直営している。一方、創業200年を超える鹿足郡内唯一の醤油製造業者が2016年に廃業することとなり、自社の製造部門強化を目的として県の事業承継推進員と相談。これを買収・承継し、伝統の味を守ることとなった。株石西社は2017年6月に3セクの株津和野開発となる。

取組内容

買収した醤油製造事業に基づき、これまで地元で親しまれてきた醤油の味を継承しつつ、商品のアイテム数を増やすとともに地域食材を活用した新商品開発と販路開拓に取り組む。

具体的には、従来の商品は1Lから1.8Lと容量の大きい商品であったため、業務用や大人数家庭向きであったが、容量を少なくし、100mlや300mlといった商品のアイテムを増やし、少人数の世帯向けにも使いやすい商品を揃えることとした。

また、地元産の食材を使用したドレッシング等を開発し、新たに顧客開拓を図るとともに、特産品として全国へ発信することを県助成事業の活用を通して取り組む。

買収した醤油製造業者の職員を継続雇用し、伝統の味が変わらないように努めているが、高齢であるため、次世代の製造の担い手の確保と育成が課題となっている。

